

# 新型コロナウイルス感染症対策事業

## コロナ禍が長期化する中の低所得の子育て世帯支援

すでに支給を開始しているひとり親世帯に加え、ひとり親以外の世帯の方への支給が始まります。

児童一人当たり、一律5万円。

ただし、ひとり親世帯を含め、コロナ禍での家計急変世帯など、申請が必要な場合がありますので、詳しくはご確認ください。

☎0564-23-6150 子育て支援室ひとり親支援係



## 「生理の貧困」に生理用品無償配布の拡充

今までの市役所福祉会館 1 階ふくし総合サポートフロア、福祉会館 3 階子ども子育てサポートフロア、市立小中学校の保健室、子ども食堂、ひとり親世帯向け学習支援会場での配布に加え、りぶら、げんき館、市内5カ所の地域交流センターの女子トイレなどにも設置されます。

☎0564-23-6774 ふくし相談課

## 生活困窮者への追加支援

国が創設した新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給が行われます。

岡崎市社会福祉協議会からの総合支援資金の再貸付が終了した世帯などが対象となります。☎0564-23-6774 ふくし相談課

## 国の施策について

全国で「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発令されており、「雇用調整助成金」「休業支援金」など国の各種施策が延長されております。

経済産業省コロナ対策関連 HP

<https://www.meti.go.jp/covid-19/>



厚生労働省コロナ支援策関連

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000622924.pdf>



令和3年8月

討議資料



# いそべ亮次レポート

<ごあいさつ>

連日猛暑が続いております。屋外ではもとより、屋内での熱中症にも気をつけて頂きたい季節です。皆様にはコロナ禍において、新しい生活様式を取り入れながら日々工夫を凝らしてお過ごしいただいております事に心より感謝を申し上げます。また、日頃は「いそべ亮次」の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜ります事に深く御礼申し上げます。

改選より9か月余りが経ちます。私も、現在、総務企画委員会の委員長として職務を全うさせていただきよう努めております。

今後も地域はもとより、本市全般についての課題をしっかりと認識して、皆様にとって住みよい、そして、働きやすい環境づくりに邁進してまいります。引き続きのご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、議会では、6月定例会が行われ、補正予算について審議が行われ、全て可決承認されております。昨年度来、「新型コロナウイルス感染症」の対策に多くの予算が投じられ、市民の皆様の安心安全を保つよう努めてきております。

現在もコロナワクチン接種をより早く、より確実に推進するよう、行政に働きかけております。

皆様におかれましても、接種券が届きましたら、なるべく早く接種を受けていただきますようお願いいたします。

まだ続く新型コロナウイルス感染症との闘いですが、どうかご自愛賜りまして、お健やかに過ごしいただけますよう心よりお祈り申し上げます。

## 新型コロナウイルス感染症予防接種

### 接種スケジュールについて

対象現在市内 13 会場(その内 5 会場程度が開設)にて、水・木・土・日曜日に接種が行われております。(藤田・愛知医大会場では別曜日の設定もあり)

現在 40 歳以上の方々には、接種券が送付されております。(8月2日現在)

### ※今後の接種券送付スケジュールについて

30 歳～39 歳の方 8月11日(水)に発送予定

16 歳～29 歳の方 8月17日(火)に発送予定

### 新型コロナウイルスワクチン接種会場の予約枠空き状況について

<https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1562/1615/p029847.html>



発行日時 令和3年7月16日 発行責任者 岡崎市議会議員 いそべ 亮次  
連絡先 岡崎市八幡町1丁目27番地 TEL 0564-24-0245 fax 0564-24-0241

問い合わせ先 コールセンター ☎0570-049-900

## 6 月定例会議案審議 (承認議案抜粋)

### ・「地元企業優先調達条例」

私たちは、地元の中小企業、小規模事業者などの活性化や、地場産業の振興、そして地域経済循環を推進する取り組みについては、以前より条例化も含め、幾たびも当局に要望をしてきました。

昨年施行された「岡崎市公契約条例」でも公共調達の中での地元事業者優先の取り組みが規定されていましたが、今回の条例では、以前より市当局において取り組まれてきた地元企業の優先調達の取り組みを、条文化しさらに推進することを目的としたものです。

このことによって、地元企業の入札への参加機会を増やし、更には技術力向上につなげ、地元の企業の底上げが叶うようになります。

また、行政も発注時に分割発注を促進し、より幅広い入札の機会の提供をしていきます。県内初の条例となります。

### ・「地域イノベーション推進委託料」

「ふるさと財団」の募集したモデル事業の採択を受け、乙川リバーフロントエリアの「人感カメラ」から得られる人流データをはじめとする各種データを加工し、民間へ提供することで、民間投資誘導を加速させます。



### ・「岡崎デジタルアン創出・育成事業」

地域活性化センターの助成金の採択を受け、「中小企業・勤労者支援センター」を活用し、若い世代の方にドローンや VR などの先端デジタル技術を学ぶ機会を提供します。



### ・「岡崎漆(うるし)プロジェクト推進業務」

三河産の漆を復活させるプロジェクト。林業の6次産業化に向け、苗の育成から始め、産地の拡大を推進します。



## 6 月定例会 一般質問

6 月定例会化においても一般質問を行いました。  
一部抜粋致します。

1QURUWA エリアの今後について

(1)天下の道

**質** 完成した「天下の道」周辺における地域新しい取り組みとして、3 学区を跨ぐ町内で構成された「7 町連合」の活躍について質疑致しました。

**答** 再整備に伴うワークショップや説明会をきっかけとして、地域の人と職員が顔の見える関係を築くことができたことに大変感謝している。そして、この取組は行政運営の総合的な指針となる「総合計画」の方向性とまさに合致するものであり、これを体現しつつある。この中心市街地における好循環の構築事例を、市全体に波及させるために、まずは、関係者の関わり方や取り組みのプロセスを、多くの方が共有できるよう積極的に情報発信することが重要であり、各地域での取り組みの際には、導入のポイントをまとめたリーフレットを作成するなどの工夫により市全域に広めて、地域課題解決に繋げていきたい。

他、東岡崎駅・コンベンションホールについての質疑を致しました。  
詳細につきましては、市発表の議事録をご覧ください。

2 観光推進について

(1)「どうする家康」活用推進の内容

**質** 23 年に放映予定の NHK 大河ドラマ「どうする家康」に合わせた観光推進に関する企画について質問をし、ドラマ館設置と美術博物館での「企画展」開催について意向を伺った。

**答** この機会を好機と捉え、積極的に進めていく。ドラマ館も NHK との協議となるが、設置していきたい。また、美術博物館での企画展も行いたいと考えているが、まずは、老朽化している博物館のメンテナンスをすぐにしていき、実施につ向けて検討していく所存である。

合わせて、現在民間で行われている「家康公検定」や「家康公作文コンクール」も連携して、IT 利用し、全国展開をして、岡崎市と家康公両方を PR していただくよう意見を付しておきました。尚、9 月 11 日に予定されていた「岡崎城下家康公夏祭り花火大会」は中止となりました。

